

## 第二回きもの知識検定 結果報告と総評

実施日 : 平成 29 年 11 月 2 日

受験者数 : 初級 86 名  
          : 中級 46 名

### 1) 受験結果報告

平均点 : 初級 73,2 点  
          : 中級 65,5 点

\*各地区平均は合格者一覧をご参照ください

合格者 : 初級 80 名  
          : 中級 40 名  
不合格者 : 初級 6 名  
          : 中級 6 名

### 2) 試験総評

第2回きもの知識検定は東京、大阪、盛岡、小倉の4か所会場で開催され、受験者参加企業は山野流着装教室様、ヤマノホールディングス様の2社となりました。今年度からは、きもの知識検定公式教本より初級範囲「きものと帯の種類」「現代版 TPO の装い」「きものを着るための基礎知識」から出題。中級は初級範囲に「染と織の基本」及び「日本の服装史」がプラスされ、初・中級とも50問の出題。その中には受験者がYAMANOグループに限られていたこともあり、ヤマノイズムに関する出題など数問はサービス問題とさせていただきます。

初級は通過儀礼、帯や小物についての説明の分野で不正解が多くみられ、コーディネートや季節の装いに関連する分野はほぼ理解されておりました。

中級は総体的に難しかったという感想の通り、特別措置として本来の合格点の基準を変更せざるを得ない結果となりました。その中で評価できる点は歴史に関する出題に勉強の成果が見られたこと。また受験者も出題者も見直すべき点は、日本文化を創る源となる地域特有の染と織の分野を熟読しイメージし修得するには十分時間を要するというところにあります。それにしても、こうして日本を客観的に見つめ風土からなる風習やきもの文化を見つめる機会を得たことは素晴らしいことです。ふと誰かにきものことを聞かれた時に何よりわかり易く伝えられる人でいられるよう、いつもお手元にきもの知識全書を置き読み返す度に新しい学びを得て頂けましたら幸甚に存じます。